

環境と暮らしにやさしい街づくりを



日本共産党 札幌市議会議員

佐々木 明美



議会報告 ▶

地球温暖化対策に後ろ向きで“化石賞”が贈られた日本。石炭火力発電や原発依存をやめ、再生可能エネルギーへの転換が必要です。

消費税10%増税や社会保障の削減をすすめる一方、国政私物化の「桜を見る会」疑惑にカジノ汚職など、国民をないがしろにする安倍政治を切り替えるときです。

札幌市政でも福祉・医療・介護・子育て支援、そして環境にやさしい街づくりへ力をつくします。

学童保育

10人未満で助成打ち切りはやめよ ——市が検討を約束

「子どもたちに豊かに過ごせる放課後の場を」——保護者らの運動で広がってきた民間学童保育。しかし、児童数が10人未満になると助成が打ち切られていました。共産党市議団は、「地域に根差して活動する民間学童の努力にこたえ、助成を受けられるようにすべき」とただすと、市は「検討したい」と前向きの姿勢を示しました。

地球温暖化

CO2排出量が279万トも増加 再生エネルギーに転換を

地球温暖化の防止は人類の死活にかかわる問題です。しかし、札幌市の現状は、温室効果ガス＝CO2の削減目標（「札幌市温暖化対策推進計画」で1990年の934万トを2030年までに25%削減）に対し、2017年度は1,213万トと279万トも増加しているのが実態です。

国連気候行動サミットでは、77カ国が2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすると表明。「環境首都・札幌」を宣言する本市として、「再生可能エネルギーへの思い切った転換」を求めました。



市民の暮らしを守る予算を—— 共産党市議団が秋元市長に要望

市民との懇談などで寄せられた108項目の要望をまとめ、市長に提出しました。

子ども医療費助成の高校卒業までの拡大、保育士の処遇改善、国保料や介護保険料の軽減や都心アクセス道路のムダ遣いの中止などを求めました。

日本共産党
札幌市議団



2020年 春期号

発行/日本共産党札幌市議会議員団事務局
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
TEL 011-211-3221 FAX 011-218-5124
HP: <http://www.jcp-sapporo.jp/>
日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します。